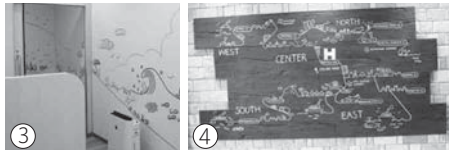




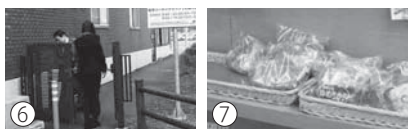
上り線 (苫小牧方向)

①商業施設外観②フードコート
③授乳室④入り口にある木製イラスト周辺図



道央自動車道の輪厚パーキングエリアは、休日になると多くの観光客などでにぎわいます。
今年、上り線の商業施設が20年ぶりに改修されました。白を基調にした外観で、内部はテーブルや装飾に木が使われ温かみを感じさせます。1月にフードコートなどが先行オープン。北海道らしいメニューを提供しています。

下り線 (札幌方向)



⑤スナックコーナー⑥パーキングエリア外からの入口⑦パン販売コーナー⑧商業施設外観

ルシェ」などが誕生しました。
上り線には星槎道都大学美術学部の学生が描いた絵画を展示する輪厚ギャラリー、下り線には市内の社会福祉法人が作るパンの販売コーナーがあります。
市内の小学生が社会見学に訪れるなど、地元で親しまれています。
また、下り線には高速道路を使わなくても店舗を利用できる入り口もあります。
輪厚スマートインターチェンジと直結し、利便性も抜群。食事や買い物に出掛けてみませんか。



NO.121

輪厚パーキングエリアに出掛けませんか



まめ記者

ひとがえがおでかつどう(あいさつ)する



広葉中学校3年
三橋和華さん
(生徒会長)

広葉中学校はあいさつ運動を実施し、朝から元気な声が飛び交う明るい学校です。「伝わる挨拶」を目指し、日々活動しています。私は生活の中で、あいさつが重要な役割を果たしていると考えます。学校の一日は「おはよう」から始まり「さようなら」で終わります。その言葉に、どんな思いを込め、伝えられたかで、その一日を心豊かなものにする事ができるのではないのでしょうか。
広葉中学校区には『双葉小・広葉中スタンダード』があり「ひと・えがお・かつどう」の3つの目標が示されています。ひとがえがおでかつどう(あいさつ)する。両校の全校児童生徒が、この目標を意識して生活することができれば、地域の人たちを含めみんなが心豊かに生活できるようになると信じています。
双葉小と広葉中が連携した活動を行い「伝わる挨拶」ができることを目指して、努めていきたいと思えます。



あいさつ運動